

2017年7月15日

コニカミノルタ&産業革新機構、米国遺伝子診断会社の買収合意

コニカミノルタと産業革新機構はこのほど共同でアンブリー・ジェネティクス社 (AG社、米国カリフォルニア州) の買収に関する契約を締結した。出資比率はコニカミノルタ 60%、産業革新機構が 40%となる。

AG社は最先端の遺伝子診断技術を持ち、成長著しいがん領域を中心とした米国の遺伝子検査市場におけるリーダー的存在となっている。今回の買収によりコニカミノルタは最先端の遺伝子診断技術、バイオインフォマティクスを駆使した高度なIT解析技術、最新鋭で大規模な検体検査ラボ、高収益なサービス事業を取得する。さらにコニカミノルタの固有技術であるタンパク質高感度定量検出技術と AG社の遺伝子診断技術を合わせることで患者のグループ化や新薬開発で欠かせない2つのコア技術を持つ。日本では、近年日本人死亡原因のトップを占めるがんを対象に遺伝子診断サービスを導入する予定で、まずはAG社の実績のある乳がん、卵巣がん、大腸がん等を対象としたサービスを2018年度から開始予定である。

以上